

重信川源流探訪

平成27年11月22日(日)

平成27年11月22日(日)に「重信川自然をはぐくむ会」の主催で『重信川源流探訪』を実施しました。三連休の中日にもかかわらず、「さくら山行会」の会員のみなさん21名も参加され、総勢33名が参加しました。

午後の降水確率50%の予報でしたが、穏やかな天気にも恵まれ、東三方が森の標高約1,000mにある重信川源流を目指しました。

一昨年は積雪、昨年は土砂崩れのため中止となりました。今回も実施前に登山口までの林道を確認したところ、小さな土砂崩れが確認されましたが、人力で整備を行い実施にこぎ着けました。

【集合場所：木地】



挨拶：松山河川国道事務所 横尾所長



絆石：下流出合の石に参加者のみなさんが想いを書いて源流のモニュメントに入れます。



集合場所の木地から悪路を車で約40分源流登山口に到着です。



準備をして、さあ源流に向けて出発です。



何度も沢を渡ります。ところによっては勢いのある流れです。滑らないように注意！



倒木を越えたり、下をくぐって進みます。木に頭をぶつけないようよう注意！



源流まで1/4位のところで最初の休憩です。



【二段落ちの滝】
ほぼ中間点です。ここでも休憩。



滝を迂回するルートは急斜面です。注意しながら進むので渋滞発生。



急斜面に張ってあるロープを伝って進みます。油断大敵です。



こんな山奥にも砂防のための石積みの堰。
「昔の人は凄い」と感心。立派な土木遺産です。



やっと源流のモニュメントが見えてきました。
登り始めて約4時間弱です。



【記念撮影】

無事に源流までたどり着けた安堵感と達成感。



絆石に想いを書いてモニュメントに入れました。
3年前に設置したモニュメントは風雪に耐え
しっかりと残っています。



源流で昼食休憩。
しっかり食べて下りに備えます。



下山開始。
下りは結構足にきます。



登りより下りの沢渡りは危険。
疲れもあるので注意します。



【二段落ちの滝】で最後の休憩です。



下山し【木地バス停】に無事到着しました。

手付かずの自然の中、登り4時間、下り3時間、計約7時間の行程でした。沢で滑りそうになったり、足場の悪い急斜面も多く、危険な箇所もありましたが、みんな無事に下山できたことが何よりでした。さくら山行会の方からは3年越しの想いが叶って良かったと感想をいただきました。それにしても、さくら山行会の方々の健脚には驚かされました。